

### 主要政策成果表を工夫しては

奥秋康子議員

本町では必要書類として決算書と共に提出されますが、本来目的の行政効果が理解しづらい。今まで以上に限られた財源を有効に活用すべく予算ごおり執行されたか、どれだけ行政効果があつたかを評価し、その成果をいかし次年度の予算に反映する重要な手がかりになると考える。数字だけでなく言葉を用い、効果的でわかりやすい主要政策成果の説明書の必要性について伺います。

高薄町長

主要政策成果表は、決算審査特別委員会で膨大な資料を提示しており、これで理解いただけれると思っ

### 商工業の現状と今後の振興策は

加末良明議員

顧客ニーズの多様化、商業圏の拡大等により小売業の減少。虫食い状態の商店街。公共事業の削減や景気回復が感じられず厳しい経営環境が続く工業。町は財政改革に取り組み中、今後、商工業の現状をどのように分析しとらえ、高齢化社会を見据えた振興策を考えているのか伺います。

高薄町長

また、本町にバイオエタノール実証プラントの誘致が決まりましたが、事業計画と進捗状況、町や商工業の振興にどうつなげるのか取り組みについて伺います。

たに取り組めるものとして、公共料金のハーモニー

カードによる支払い、商業者がネットワークをつくって御用聞きに歩くことも考えられる。

顧客ニーズの多様化、商業圏の拡大等により小売業の減少。虫食い状態の商店街。公共事業の削減や景気回復が感じられず厳しい経営環境が続く工業。町は財政改革に取り組み中、今後、商工業の現状をどのように分析しとらえ、高齢化社会を見据えた振興策を考えているのか伺います。

### 清水町の将来をどう描く

妻鳥公一議員

平成19年度の町政執行方針は、内容が総花的で、町長が平成19年度の行政執行をどのように考え、どこに重点を置いているの

かが見えてこない。

何事も先を見越して、今、何をやるかを考える必要があります。

町長の町政執行方針からは、清水町の将来の姿が見えてきません。町長はどのように考えているのか。

高薄町長

地方交付税が著しく削減され、医療費を含めた福祉経費が増大する中、徹底した行財政改革を行っており、今後もしていかなければならない。

清水町の将来の姿を求めるには、一番大事なのは膨大な公債費を返済しながら、最低の事業経費で運営していくことと考える。

### 75歳以上の医療保険料負担増の影響は

妻鳥公一議員

平成20年4月から、75歳以上の方々はすべて新しい医療制度に入らなければなりません。

75歳以上のすべての高齢者から保険料を徴収し、

滞納者からは保険証を取り上げるという制度です。しかも保険料は年金から天引きされます。

この医療制度が高齢者の生活に及ぼす影響について伺います。

高薄町長

後期高齢者医療制度は、高齢者に負担をかけるので怒りに耐えないが、国の財政を考慮すると、少し考えなければなりません。

原則1割、現役並み所得者は3割の患者負担で、所得のない人も1割負担となり、非常に厳しい制度である。

全体医療費の10%を保険料として徴収するが、滞納発生後1年を経過した者に保険証の返還を求め、資格証明書の交付を行う老人保健法になかった制度が加わっており、運動展開しなければなりません。

### 温泉運営に努力されたか

妻鳥公一議員

しみず温泉フロイデは、13億円の巨額の町費を投じた町民の施設です。

町長は入浴客数が年々減少することを理由に、温泉運営をやめるといいう方針を打ち出しました。

しかし、オープン以来問題となっている食堂の使用料を取っていないこと等、町民に不評を買っていました。

町民の保養施設として親しまれ愛される運営努力をされたか、ここに至った責任について伺います。

高薄町長

放漫的な経営でこうなったのではなく、健康・保養のことを考えれば、3000万円の赤字なら町でやっていけるとの当初計画の甘さがあった。それは町民の強い要望があったからで、運営上、努力不